

平成 29 年 12 月 20 日

各 位

東京都港区六本木六丁目 8 番 10 号
会社名株式会社 モブキャスト
代表者名代表取締役社長 藪 考樹
(コード番号 : 3664 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 管理本部長 佐武 利治
(TEL.03-5414-6830)

純粋持株会社体制への移行に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 12 月 20 日開催の取締役会において、平成 30 年 4 月 1 日を目途として純粋持株会社体制へ移行することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 持株会社移行の目的

モブキャストでは、日本が世界に誇る強力な IP（知的財産権）やブランドの新たな価値を創出したコンテンツ展開、それらを創るクリエイターや企業に対し、これまで培ってきた「モバイルインターネット領域におけるサービス開発および運営ノウハウ」を提供することで、グローバルでの事業成長を実現し、日本のエンターテインメント業界を革新させ、さらなる発展に貢献することを、重要な戦略と位置付けています。

その実現のため、2016 年 2 月 19 日に VR を中心としたゲーム開発事業を展開する米国人エンハンスに投資、2017 年 4 月 25 日には株式会社モブキャスト・エンターテインメントを設立し、株式会社松風の持つ投資スキームに関する策定ノウハウと、モブキャストグループが持つ強みを融合させ、IP 及びエンターテインメントコンテンツの価値と収益力の向上を対象とした投資運用事業を進めてまいりました。その成果として、2017 年 4 月 25 日には EC 事業、メディア事業、音楽事業を展開する株式会社レトロワグラスへの投資が実現いたしました。

これらの投資運用事業により取得した事業及び当社の既存事業それぞれを成長させ、当社グループの企業価値を向上させていくためには、グループ全体での経営管理体制をより強化されることが重要です。そのため、グループの経営機能と事業執行機能を明確にするため持株会社体制へ移行することを決議いたしました。これにより、グループの戦略的マネジメントの強化や経営資源の適正な配分を行うとともに、グループ会社においては、よりスピーディな意思決定が可能になるとともに責任と権限がより明確化され、事業としての競争力や効率性の更なる向上が期待されます。

2. 持株会社の機能

持株会社においては、事業領域拡大のための新規投資機能、及び人事、財務、IR、監査等のグループ全体の経営及び公開会社に必要な機能を持ちます。体制移行後は、グループ全体の経営を統括し、グループ間の事業シナジー効果を高めグループ全体の企業価値の向上を目指します。

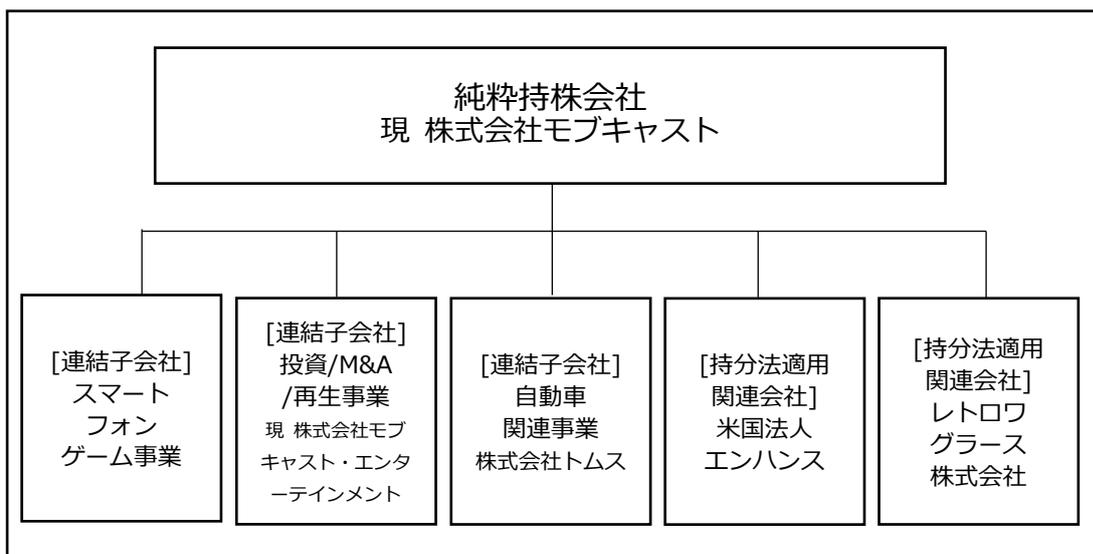
3. 持株会社への移行方法

持株会社への移行につきましては、当社を持ち株会社として存続会社とし、現在の主力事業であるゲーム事業については新規設立または会社分割によるゲーム子会社へ承継する計画であります。なお、持株会社である当社が東京証券取引所マザーズ市場の上場を継続いたします。

また、本日、株式会社トムス（以下、「トムス」）の株式を取得する基本合意を締結しており、将来的にトムスが当社の連結子会社となる予定であります（詳細は本日付「株式会社トムスの株式取得（子会社化）に関する基本合意締結のお知らせ」をご参照願います）。さらに、株式会社モブキャスト・エンターテインメントの持分法適用関連会社であるレトロワグラス株式会社株式につきましては、当社にて株式会社モブキャスト・エンターテインメントより取得し、当社が直接保有する予定であります。

具体的な移行方法等につきましては、詳細が決定次第改めてお知らせいたします。

4. 今後のグループ体制（平成 30 年 4 月 1 日予定）



5. 今後の予定

取締役会における関連議案の承認 平成 30 年 2 月 21 日（予定）

定時株主総会における関連議案の承認 平成 30 年 3 月 23 日（予定）

持株会社体制への移行 平成 30 年 4 月 1 日（予定）

なお、今後の予定につきまして、変更が発生した場合は速やかに開示いたします。

以上